

第23回ヒロシマ現地学習行動



8月5日～7日、「第23回ヒロシマ現地学習行動」を開催し、137名の仲間と現地に立ち、「原爆が投下された広島で何があったのか」を学ぶことができました。

6日は「平和記念式典」に参加し、引き続き「学習講演会」を開催しました。被爆2世の山岡美智子さんから「母親の体験」や「広島に原爆が投下された経緯と現状」について講演を頂きました。また、原廣司さんから「目で見て、鼻で嗅いだヒロシマの惨状」の実体験を語っていただき、参加者と非人道的な「原爆＝原発」「人類と核は共存できない」と戦争をなくすために行動していくことを確認しました。

7日は「碑めぐり」を行い、現地に立つことを通じて講演で聞いた当時の情景をよりリアルに実感することが出来ました。また、碑めぐりガイド(26名)の仲間が、自分の言葉でガイドをすることにより、参加者一人ひとりに伝えることが出来ました。

被爆者が減少している今、私たちが「平和のバトン」を引き継ぎ、語り広めることが求められます。「戦争をする国」になりつつある今に今だからこそ、憲法9条を守り、平和な社会を実現するために諦めずに行動しましょう！

自らの行動で「平和のバトン」を未来へ繋げよう！